

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130

市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2020年3月22日号



## 最早「激甚災害」状態だ

### 国や市は、緊急補正予算など財政裏付け対策を

井上議員が、新型コロナウイルスの影響について、市民の皆さんに現状やご意見をお聞きしに回っています。先週号に続き、皆さんの声を紹介します。

※ ※

● 行事やイベントなどの案内用チラシの注文がガタ落ち。お寺や施設などの紹介パンフレットや各業界の冊子なども、注文はあっても、部数やページ数が減っている(印刷会社)。  
● 来訪者には熱を計ってもらい、消毒もして

もらっている。家族などの面会も時間を短縮してもらっている(高齢者福祉施設)。  
● 消毒液が足りない。補充のアテがない(青少年活動センター)。

● もし対象老人に感染者が出た場合、どう対処していいのか、あらかじめ想定しておくことも必要だと思うが、今のところ市からは何も言っていない(ヘルパー派遣介護事業所)。  
● ウチからは新型コロナ以前の消費増税以来、去

人通りがない。全然、お客さんが来ない(まちのパン屋さん)。  
● コロナの影響はないが、消費税を何とかしてほしい。実際は元請

## 市自身が、直接、相談にのる仕組みを

＝ 議会での質問より ＝

議会では、連日、予算委員会が開かれています。井上議員の担当は、産業観光局・交通局・水道局です。主な質問(●)と答弁(○)の要旨を紹介します。

※ ※

● 売上げ減少の事業者への支援について、融資だけでなく、返済無用の補助金など思い切った手を打つべきだ。  
○ 国の動向を見ながら。  
● 銀行や商工会議所任せにせず、市自身ももっと直接、相談にのる仕組みを。  
○ 相談は受けている。  
● もっと現場へ足を運ぶべきだ。  
● さて、「都市農業振興基本法」が制定され、

さんに請求できないし、もし請求したら「他に回す」と言われてしま(建設業)。  
※ ※

井上議員をはじめ、共産党市議団として、これらの声を議会で紹介、医療分野での対策充実、事業者への支援強化等を求めています。

農地を残そうと、国もタマにはいいことを言っている。市での具体化はどうか。  
○ 市の「農林行政基本方針」で同趣旨のことを謳っている。来年度、この方針を改定補強する。

● 今まで国は、都市農地は「宅地化すべき」と言っていた。今回、コペルニクスの転換と言われている。酸素や食料の供給という意味で、生活ではなく生存必需品。法律の趣旨に沿って、具体化すべき。  
● 水道水の利用が減っている。局は「節水型社会だから」(仕方がない)と言っているが、それだけでは、将来、



農業は基幹産業、都市農地を守ろう

水道料収入減で値上げの方向もありうる。心配だ。もっと利用減の原因の分析を。  
○ 「お風呂に入ろう」など、水利用を呼びかけている。  
● 国もペットボトル抑制と言っている。プラスチック抑制は世界の流れ。  
○ 水道水を飲んでもらいたい。  
● 節水型社会だとしても、かといって市民への負担増はダメだ。  
● 南区から河原町通を通るバス路線を、この要望がある。

○ 東海道本線のガードの勾配が急でムリ。  
● せめて高倉通りへの迂回や、乗り継ぎ無料化など改善を。



## 個人タクシーの組合の皆さんの声を聞く

新型コロナウイルスの影響で、タクシー業界では売上げが激減。14日、こくた恵二衆院議員や党府議団・市議団各代表で、個人タクシーの組合の役員さん、ドライバーの皆さんたちの現状をお聞きしました。融資では追いつかない。借りても返せない。補助金を、など切実な声が寄せられました。

